

福井県立恐竜博物館(1/2)

世界に羽ばたく恐竜博物館

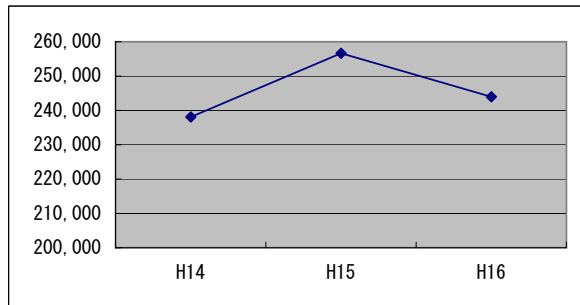
所在地	勝山市村岡町寺尾51-11		
設置年月日	平成12年7月14日		
施設の種類	博物館	施設管理主体	県
設置の目的	恐竜を中心とする古生物および地球の歴史に関する資料の収集、保管、展示、研究等を行い、もって県民の文化の向上に寄与する。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階、延15,086㎡ 展示室・講堂・ダイノラボ・ダイノシアター・化石クリーニング室・恐竜骨格30体以上		
職員数	職員14人、非常勤嘱託3人 アルバイト5人 計22人		

利用状況等

	H14	H15	H16
利用者数(人)	238,076	256,663	243,976

利用者負担(利用料金)等

入館料	大人	500円
	高校・大学生	400円
	小・中学生	250円



利用状況の推移	<p>平成15年度は特別展「オーロラを見た恐竜たち」が好評で76千人の来館があり、年間来館者数は約25万6千人で過去最高となりました。</p> <p>平成16年度は特別展「中国大陸の6億年」に80千人の来館ありましたが、福井豪雨等の影響により、年間来館者は約24万4千人で、対前年比約5%減となりました。</p>
---------	--

16年度の特徴について

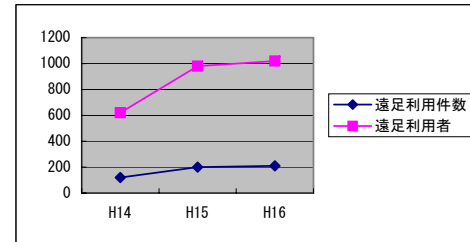
事業実績	<p>恐竜博物館の姉妹提携館である、中国浙江自然博物館の収蔵品を中心に特別展「中国大陸の6億年」を79日間にわたって開催し、80,602人が来館。「恐竜の里」と呼ばれる浙江省をはじめ、中国国内の各地から発掘された化石を展示するとともに、日本と中国の大地の歴史や生物、環境の移り変わりなどを紹介し好評を得ました。</p> <p>大人から子供までのあらゆる層の多様なニーズに応じた、セミナー、自然教室、ふれあい教室等教育普及事業を40回開催し、児童生徒、親子等約1,000名が参加。児童・生徒を中心にわかりやすい古生物学を紹介できました。</p> <p>16年度より夏休み期間中は休まずに開館することし、県民の利便性の向上に寄与しています。</p> <p>県観光連盟と連携し、東京、名古屋、大阪において旅行代理店等に対し、誘客のためのPRを実施しました。</p> <p>県内ショッピングセンター(コパ)において、出前PRを実施しました。</p> <p>JR西日本金沢支社が京都駅前に設置した恐竜モニュメントのオープンニングイベントに参加し、誘客のためのPRを実施しました。</p>
------	--

観光との連携

県観光連盟と連携し、東京・名古屋・大阪で旅行代理店等に対し、福井への誘客のためのPRを行いました。

県外からの入館者が5割以上のため、館内に県内の観光ポスターを展示し、来館者へ情報提供を行いました。

遠足や修学旅行での来館状況



研究の状況

恐竜博物館の職員が平成16年度中に以下の研究を実施しました。(共同研究を含む)

- Cenozoic Molluscan (Bivalvia) Cenozoic of Hokkaido, Northern Japan.
- いくつかの日本産鯨類化石の再検討 -古生物地理と起源の時期の観点から-
- 3-D models of two species of Archaeofructus, one of the earliest angiosperms, reconstructed concerning their ecological strategies.
- 中国遼寧省朝陽県羊山の恐竜足跡化石産地探訪記

福井県立恐竜博物館(2/2)

行政コスト計算書(平成16年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	151,334	16.1%	97.8%
	退職給与引当金繰入	▲ 3,936	-0.4%	
	計	147,398	15.7%	95.3%
物にかかるコスト	物件費	334,972	35.6%	103.1%
	維持補修費	18,877	2.0%	1570.5%
	減価償却費	254,708	27.1%	100.0%
	計	608,557	64.7%	104.8%
その他	公債費(利子)	181,200	19.3%	94.5%
	その他	2,915	0.3%	146.8%
	計	184,115	19.6%	95.0%
合計		940,070	100.0%	101.2%

バランスシート(平成17年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	12,927,217	98%	固定負債	9,213,008	93%
投資等	0		流動負債	670,856	100%
流動資産	0		正味資産	3,043,353	118%
計	12,927,217	98%	計	12,927,217	98%



(単位 千円)

収入				
収入	利用料等収入	86,067	9.2%	96.1%
	その他収入	6,507	0.7%	84.2%
	一般財源	847,496	90.2%	103.3%

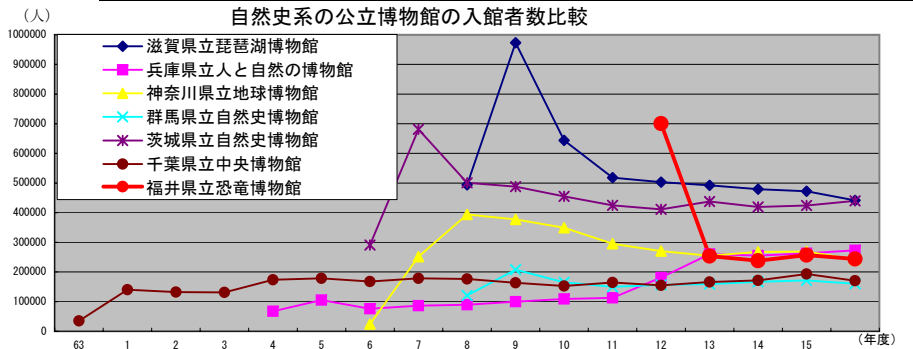
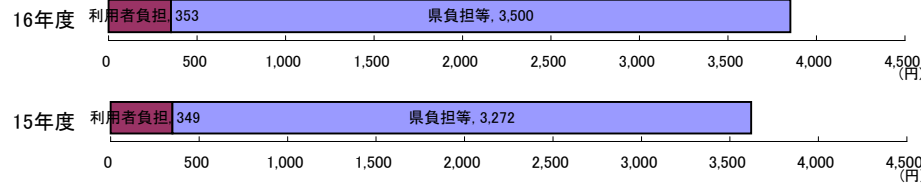
(前年比)

利用料等収入計	86,067,000 円	96%
利用者1人あたり平均利用料	353 円	101%
利用者1人あたりコスト	3,853 円	106%

施設の特徴 恐竜化石発掘調査で多くの標本が発見され、勝山市近辺には当時豊富な恐竜の群が生活していたことが明らかになりました。恐竜博物館は、そのような恐竜に関する資料を展示した、国内最大級の博物館であり、地元勝山市および本県のイメージアップに貢献するとともに、県内外から多数の入館者が訪れるなど本県の観光資源としても重要です。実物大かつリアルな恐竜のロマンと不思議を体験でき、自然科学に対する子供たちの夢、関心を醸成しています。

今後の課題 世界的な恐竜研究のメッカとなる取組みを進め、調査研究のレベルアップを図るとともに、県内外の学校等に対するPR活動、大都市圏における恐竜展への出展、子どもたちに楽しめる博物館を通じて入館者の増加を図ってまいります。

利用者1人あたりのコスト負担の状況



バランスシート、行政コスト計算書の特色

入館者数が前年比95.1%と減少し、利用料が減少したため、利用者1人あたりのコストが増加しました。

今後の事業方針

取組み内容

国内で初めてアジアの恐竜をテーマとしたシンポジウムを平成19年度に開催するための準備を行い、広く国内外にアピールして、国際的な恐竜研究の拠点化を目指します。全国各地の代表的な自然系博物館とネットワークを構築し、恐竜など古生物の共同研究等を行い、国内中核機関としての確立を図ります。全国の子どもたちに“ふくい恐竜”を知ってもらい、来館のきっかけとなるよう県内外の学校に呼びかけ、出前講義や本物の恐竜化石に触れる機会を設けます。県外からの誘客を図るため、県観光連盟等と連携してPRを積極的に推進するとともに、都市部や海外での恐竜展示会等に積極的な出展し、恐竜博物館を全国に認知してもらうための取組みを進めます。エントランスホール等を活用し、子どもたちを楽しませるアミューズメント性の高い恐竜グッズの展示や館内を楽しく見ることができる子ども向けのガイドの充実を図ります。